

会 議 録

| | | | | | | |
|--------------------|---|--------|------|-------|----------|---|
| 会 議 名 | 第3回 嵐山町立小中学校再編等審議会 | | | | | |
| 開 催 日 時 | 令和3年11月19日（木） | | | 開 会 | 午前10時00分 | |
| | | | | 閉 会 | 午前12時10分 | |
| 開 催 場 所 | 嵐山町役場 204・205会議室 | | | | | |
| 会 議 次 第 | 1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 第1回及び第2回会議録の承認及び署名 (2) 町立小中学校施設等の現状について（ビデオ映像等） (3) 事前質問について ・現状どのくらいの部活があり、統合した場合は改善されるのか。 ・小中学校を一貫にした場合のメリットとデメリットは何か。 (4) 今後の審議の進め方について (5) その他 4 閉 会 | | | | | |
| 公開・非公開 の別 | 公 開 | | 傍聴者数 | 3人 | | |
| 非公開の理由 (非公開の場合) | / | | | | | |
| 委員出欠状況 | 会 長 | 加藤 信幸 | 出 | 副 会 長 | 安藤 欣男 | 出 |
| | 委 員 | 池亀 亜衣子 | 出 | 委 員 | 内田 茜 | 出 |
| | 委 員 | 山中 美佳 | 出 | 委 員 | 関根 盛敏 | 出 |
| | 委 員 | 横澤 紗智子 | 出 | 委 員 | 齋藤 彩乃 | 出 |

| | | | | | | |
|------------------------------------|--|---|---|---------|-------|---|
| | 委 員 | 眞坂 直樹 | 出 | 委 員 | 橋本 将 | 出 |
| | 委 員 | 大嶋 佐枝子 | 欠 | 委 員 | 畝迫 昌和 | 出 |
| | 委 員 | 小林 靖弘 | 出 | 委 員 | 佐藤 博 | 出 |
| | 委 員 | 小野川 和史 | 出 | 委 員 | 高田 享 | 出 |
| | 委 員 | 戸坂 心 | 出 | 委 員 | 加藤 幹雄 | 出 |
| 事 務 局 | 教 育 長 | 奥田 定男 | | 次 長 | 山岸 堅護 | |
| | 指 導 主 事 | 不破 克人 | | 主 席 主 査 | 尾針 雄介 | |
| 次 第 | て ん 末 | | | | | |
| 1 開 会 | 事務局 | | | | | |
| 2 あいさつ | 加藤会長 | | | | | |
| 3 議題 | | | | | | |
| (1) 第1回 及び第2回会 議録の承認及 び署名 | 第1回及び第2回会議録について、事前配布の資料に基づき内容を確認し、修正等はなく了承され、正副会長が署名する。 | | | | | |
| (2) 町立小 中学校施設等 の現状につい て | 事務局 | 事務局よりビデオ映像により説明後、質疑を諮ったが特になかった。 | | | | |
| (3) 事前質 問について | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状どのくらいの部活があり、統合した場合は改善されるのか。 ・小中学校を一貫にした場合のメリットとデメリットは何か。 事務局より資料を用いて説明した。事務局の説明後、質疑を諮ったが特になかった。 | | | | |
| 各委員の意見 等について | 第1回会議資料、第2回会議（各小中学校見学）、第3回会議（ビデオ映像等）を踏まえ、各委員の意見、感想等をお聴きする。 | | | | | |

| | |
|-------|---|
| 内田委員 | 11月20日に実施される議会報告会の中で、「学校再編についてどう考えますか。」というテーマにより、意見交換会があります。そこでの意見や審議会の内容等を共有したほうが良いと考えますが、いかがでしょうか。 |
| 加藤委員 | 昨年、議会報告会の意見校交換会に参加しました。テーマは学校再編の事ではありませんでしたが、実際の意見交換は学校再編の事で終始しました。その中で、情報の共有がされていない状況があると感じました。白紙となったきっかけになったと思っているので、今回は意見交換会での意見や審議会の内容など共有し、キャッチボールできればよいと考えています。 |
| 事務局 | 11月の広報に委員名簿を掲載し、ご意見ご質問は教育委員会事務局又は身近な委員さんまでということでお知らせをさせて頂いております。委員さんにおかれては、意見交換会に限らず多くの方のご意見をお聞き頂き、審議会に反映して頂きますよう、お願いいたします。また、これまでの会議では守秘義務の対象となるものはありませんので、会議の内容については、全て公開して頂くことができます。 |
| 加藤委員 | 学校見学をし、雨漏り、トイレ、プールが大きな問題と感じました。最も深刻なのは、菅小と七小の屋上シート防水の破断です。国の方針は、公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針の中で、改築（建替え）から長寿命化改修を急速に進めることとなっています。こうした中、菅小や七小については、大規模改修後どのようなメンテナンスがされたのか、又町としてのメンテナンスの方針がどのようになっていたのか。新しい学校を建設しても、メンテナンスをしないと同じ事が繰り返されてしまいます。 |
| 戸坂委員 | 菅小の天井の状態、子供を通わせる事には不安を感じます。子供の安全確保を最優先するべきです。 |
| 高田委員 | 先が見えていること（小中学校に関する町の方針）が重要です。 |
| 小野川委員 | 今の在校生の環境も大切です。天井やトイレなど応急的な対応では、改善できない状況です。ペットボトルの水で、トイレを流している状況です。 |
| 佐藤委員 | 各学校の状況は、理解できました。しかし、時間的な制約もあるため、この審議会では個別の修繕対応の事を話し合うのではなく、統合について方向性を話し合っていきたいと考えています。 |
| 小林委員 | ビデオ映像により、学校の老朽化が良く分かりました。また、少子化は、もう一つの大きな問題です。七小の複式学級が予測されています。早急に、対応を進める必要があります。 |
| 畝迫委員 | 子供の安全が保たれていない中、再編等の方向性を早急に決めることが重要です。 |

| | | |
|----------------|--|---|
| 橋本委員 | 最も大事なものはスピード感です。建替えを前提に、学校に関する予算はどのくらいとれるのか。また、学校の候補地を提示してほしい。 | |
| 眞坂委員 | 天井の剥落やトイレの不具合など、学校施設の現状から、建替えありきです。候補地と予算に合わせて、再編の具体的な話し合いをしたい。トイレ管理など教員にも負担がかかっている。その分の労力が、子供達に向けられるような環境が望ましい。一刻も早く、できれば今年度中に方向性を決めたい。 | |
| 齋藤委員 | 和式のトイレについて、子供を通わせることに不安を感じます。周りの保護者の認知度が低い。学校についての方針が分からないことが不安です。広報に学校施設の写真を掲載してほしいとの声があります。 | |
| 横澤委員 | スピード感をもち、かつ慎重に進めるべきです。この審議会で明確に方向性を示すことが必要です。再編までに時間がかかる場合は、子供の安全を第一にし、施設の補修をしていくことが重要です。 | |
| 関根委員 | 子供の将来を見据えた統合をするべきです。中学校を先行統合し、物事を早急に進めることが重要です。 | |
| 山中委員 | 子供がプールの授業を嫌がる理由が、プールが汚れていることです。天井の剥落やトイレの水が流れないことなどあり得ないことです。建て替えの方向で、動いて頂きたい。部活についても、サッカー部がないなど充分ではない。活気のある学校とするには、ある程度的人数が必要です。このままでは、嵐山町から人（児童生徒の保護者）が離れてしまいます。 | |
| 内田委員 | 七郷地区はスクールバスのことが一番の問題となるので、そういった具体的な話を進めていきたい。 | |
| 池亀委員 | 学校は学業などに専念する場所です。それ以外の環境（天井の剥落やトイレの洋式化など）のことで児童生徒、教職員に不自由をきたしていることは残念です。簡易洋式トイレ設置の検討をお願いします。社会性を身に着けるためにも、一定の人数が必要と考えます。不安材料の多くは、通学面と思われるので、そうした不安材料について丁寧に説明し、かつスピーディーに進めたいと思います。1年間の出生人数が100人以下なので、1校に統合し町外の方が転入頂けるような魅力的な学校を目指すことが大切だと思います。 | |
| (4) 今後の進め方について | 事務局 | 第1回会議において、諮問書をお渡しした際、教育長が申しあげましたとおり、学校の数と位置について、一定の方向性をお示し頂くことについて、学校の状況などをご確認頂き、保護者の皆様を対象としましたアンケート結果なども踏まえ、今後の進め方について、ご審議頂きたいと存じます。 |
| | 会長 | 先ほどの皆様方のご意見をまとめ、進めていくということ |

| | | |
|---------|-------|--|
| | | でよろしいでしょうか。 |
| | 委員 | 了承 |
| (5) その他 | 事務局 | 日程の固定、時間の延長など委員からのご意見を踏まえ、次回以降会議日程 第4回会議 令和3年12月16日(木) 午前9時から 第5回会議 令和4年1月13日(木) |
| | 橋本委員 | 審議を進めていくうえで、時間が足りない。審議を早く進めていくため、前回検討した内容をもとに話し合ってみてはどうか。また、前回どこまで決まって、なぜ白紙になったのか知りたい。 |
| | 山中委員 | 一旦、白紙になっているので、前回の結果は持ち出さずに、使えるデータは使ったほうが良い。 |
| | 加藤委員 | 前回の検討状況を確認できている事項、不確かな事項、立ち消えになった事項、手つかずの事項に分類した。こうしたことから、前回の内容を検証することも、一つの方法である。 |
| | 眞坂委員 | 候補地は示されるのか。審議会では、何をどこまで決めるのか。 |
| | 戸坂委員 | 結論を出す方法は、決まっているのか。多数決など。 |
| | 安藤副会長 | 施設面や学校現場での対応を考えても、十分に情報共有をし、スピーディーに進めていきたい。 |
| 4 閉 会 | 安藤副会長 | 閉会の言葉 |

以上、会議のてん末を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和3年12月16日

会 長 加藤信幸
副会長 安藤欣男